

令和元年（2019）年度

長野県松本深志高等学校

「自治の精神」を活かした教育活動の検証と展望

研究者との共同研究 公募要領

目次

1.	事業の趣旨.....	1
2.	公募研究の内容.....	2
3.	応募書類の提出方法等.....	3

1, 事業の趣旨

松本深志高等学校は、今年度創立143年を迎える。自主・自立を掲げる「自治の精神」を教育理念に、国内でも独自の教育を展開してきた。現在の教育目標は、「自主的で、確かな思考力とたくましい行動力を備えた、心豊かな人間」の育成と定め、全校生徒が互いに切磋琢磨して、授業、生徒会活動、部活動の3本の柱を通じ、心身を鍛え相互信頼を築く「全人的教育」を目指している。

「自治の精神」の具現化は、旧制松本中学の校風を受け継ぎながら新制高校となり直ぐにはじまる。校則・制服を廃止し「深志生の良心に問う」という言葉に照査し、生徒自らが、自由かつ自らを律しながら主体的に生きることを強く求めた。生徒会活動では、学校と地域をつなぎ、共に共有する問題を解決していくために組織した「松本深志高校地域フォーラム 鼎談深志」等、数々の実践が生まれ注目されている。詳しくは、YouTubeにて「松本深志高校を紹介する作品群」として公開しているので、そちらを参照されたい。(下記URL参照)

また部活動では、学術系・文化系・体育系を問わず活動の骨格部分を生徒が主体となって企画することを求め、練習計画・会計を含め運営面でも生徒が主体となる「自治の精神」の具現化を求めている。また、兼部条件も定めず、自らが求め入部する部活動に制限はない。体育系部活動の集大成はインターハイではあるが、この体育系部活の参加を含め、生徒会・学術・文化系部活動で深められる「総合的で深い学びと実践」は、7月に約1週間行う文化祭(トンボ祭)に、各部活動の発表、実行委員会・係による運営という形で集約される。

しかし、時代が変わり、様々な教育改革、教育課程の改定の中で、この伝統に育まれてきた自治活動の実践の到達点を評価検証し、時代と共に深く価値ある教育活動に発展させることが求められている。

そこで、長年にわたって本校学校風土の中に蓄えられ、「自治の精神」を理念に生徒に主体性を求めた教育実践が、生徒の人間としての自立にいかにか寄与し、主権者意識の育成と醸成の原動力となっているか。部活動を含め、総合的かつ探究的な深い学びを抱合した自主的な活動が、論理的な思考とコミュニケーション力の獲得に寄与しているか。様々な分野の研究者の協力を得て、到達点の検証と未来への深化を生み出す共同研究をおこないたく本研究を企画した。広く、松本深志高校に興味を持ち、かつ共同して研究していただける研究者を次の様な条件で公募する。

注) YouTubeにて「松本深志高校を紹介する作品群」

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLuOFdsslg2HOke6ZiWvIF0eocgoqxiesr>

2 公募研究の内容

(1) 研究内容

戦後70年にわたって「自治の精神」を理念に進められてきた、生徒に主体性を求めた教育実践が、次の様な力の獲得に有効に機能してきたか検証する。

- 主体性向上、並びに所属共同体の主権者意識育成と醸成の原動力となっているか。
- 総合的かつ探究的な深い学びを抱合し、論理的な思考の獲得に機能しているか。
- 自らの企画を説明遂行するコミュニケーション力と実践力を獲得しているか。
- 生徒の自立に寄与しているか。それはどのような実践か。

未来への展望として「自治の精神」をどのように活かし深化させていくか。

- さらなる生徒と教職員の協働は可能か。またどのような関わり方必要か。
- さらなる学校行事への生徒参加や、授業を共に工夫するための協働実践のあり方等

(2) 研究実施体制

共同研究は、本校が委嘱した研究者と本校担当職員によって構成し研究を実施する。

課題によっては、生徒も参加し共に研究をすすめる。

(3) 研究期間

令和2年4月1日 から 3年間 （3年目は検証と展望をまとめ）

(4) 応募資格

この研究経費を、科研費や自らの研究費等で賄うことができる研究機関に所属する研究者

(5) 条件

本校は、この研究に対する費用を用意することはできません。しかし、以下については誠意を持って対応いたします。

- 研究に関わるフィールドと情報、調査に関する全面的な協力。
- 共同研究をすすめる共同研究者（コーディネーター）若干名
- 共同研究への生徒参加の検討。

(6) 採択予定数

共同研究を行う研究者の人数は定めませんが、本校選定委員会（「未来の学校プロジェクト」担当中心に構成）で、応募頂いた研究者の分野、内容等を検討し、共同研究を委嘱いたします。

3 応募書類の提出方法等

(1) 応募書類

・共同研究案・計画書：電子申請

(2) 提出方法

応募者は、令和元年11月末日までに、上記書類を下記までメール添付でお送りください。

公募宛先、 fukashikyodo2019@gmail.com

この公募研究についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

長野県松本深志高等学校 390-8603 松本市蟻ヶ崎3-8-1

電話 0263-32-0003

担当者 関 正浩

松本深志高等学校 教頭

林 直哉

松本深志高等学校 教諭

fukashikyodo2019@gmail.com

または、hayasi008@mac.com

「未来の学校」に関連した研究者との共同研究 共同研究案・計画書

1. 共同研究テーマ

2. 具体的な研究課題と期間、概要など

3. 実施体制 研究者が複数の場合は、代表者と共同研究者を明記する。

代表研究者

ふりがな※		(年齢)	
氏名※		平成31年4 月1日現在	
所属機関※		職名※	
所属部署※			
TEL		FAX	
E-mail			

連携研究者

氏名	所属機関・部局※	職名